

第67回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

HB052CE	高校	生物	福井県
学校名	福井県立藤島高等学校		
研究作品タイトル	ニホンイタチを守るために 2種のイタチの分布調査と雑種の判別		
研究者氏名 (共同の場合はグループ)	南部 真生、大西 耕太郎、稲尾 拓也、本道 一樹、平井 丈一郎、武澤 駿翔		
指導教諭氏名	橋本 由香里		

【動機】

福井県には、在来種であるニホンイタチと外来種であるシベリアイタチの2種類が生息している。昨年度の研究で雑種が出来ていることを発見した私たちは、その広がりを調べようと取り組んだ。

【方法】

この2種のイタチの判別は容易ではなく、環境省では尾率を用いた判定を用いているが確実ではない。そのためDNAを採取し、PCRを用いた種判別を行った。また、形態を用いた種判別方法を改善するため、新たな2観点を追加し解析を行った。

【結果】

雑種の広がりを調査するために、鯖江市に範囲を絞り、新たに11個体について母方・父方別に種判別をおこなったところ、全て父方・母方ともにシベリアイタチであった。また、形態判別とDNA判別も一致した。

【まとめ】

今回は10個体ではあるが全て母方・父方共にシベリアイタチの純系であることが明らかとなった。また、尾率だけの判定では10個体中2個体はニホンイタチとの判定になっており、精度80%であることから、3観点法の正確性が一層明らかとなった。

【展望】

3観点を用いた判定方法はDNAを用いた判定と異なり、誰にでも判別可能であることが大きな利点である。今後は、この3観点を用いた判別アプリなどを作成し、県や各市町村の獣害対策課に配布することでニホンイタチの保護に貢献していきたいと考えている。